

hiFace トラブルシューティング

1、

現象：パソコンの USB ポートに hiFace を接続すると、パソコンがリセットされます。パソコンを正常動作させるためには hiFace を外さなくてはなりません。

原因：パソコンの USB ポートから hiFace に供給される電流が不足しています。

対策：パソコンに USB ポートが二つ以上ある場合には、二つの USB ポートと一つの USB デバイスを接続するアダプターを使用してください。そうでない場合は、他のパソコンを使用して下さい。

2、

現象：hiFace が接続されているときにパソコンの電源を入れると OS の起動に時間がかかり、パソコンの動作が遅くなります。そして、hiFace を使用できません。OS 起動後に hiFace を接続してもパソコンの動作が遅くなり、hiFace が使えません。FooBar を起動すると頻繁にパソコンがクラッシュします。

原因：古いドライバ（リリース 1.00、1.01）がインストールされていて、Windows が音声再生の既定のデバイスとして hiFace を選択した可能性があります。このような状況では、Windows がパーマネント・ストリームを hiFace に送ろうとしますが、hiFace はこれを扱うことができず、衝突が発生します。いずれにしろ、再生ソフトが hiFace にアクセス使用とする時には他の問題が生じます。

対策：ドライバを 1.02 以降にアップデートしてください。もしくは、Windows を下記のように設定してください。コントロールパネルを開いてサウンドとオーディオデバイスを選択してください。オーディオ>音の再生と音声>音声再生の既定のデバイスが hiFace になっていたら、他のオーディオデバイスを選択してください。適用をクリックしてください。確認のためにハードウェアのタブをクリック、hiFace を選択してプロパティを開いてください。プロパティのタブをクリックして、オーディオデバイスの中にある M2Tech USB SPDIF Virtual Audio Device を選択してさらにプロパティを開きます。「このデバイス上でオーディオ機能を使わない」「このデバイス経由では割り当てない」を選択して適用します。これで OS が hiFace を探して選択するのを回避します。したがって、再生ソフトだけが hiFace を使用します。

3、

現象：特定の音楽ファイルを再生すると DAC が機能しません。

原因：音楽ファイルのサンプリング周波数が高すぎて DAC が対応していません。

対策：音楽ファイルのサンプリング周波数に DAC が対応していることを確認してください。

4、

現象：FooBar が hiFace を使用する設定を保存していません。

原因：hiFace が FooBar の起動後に接続されたか、hiFace が FooBar の終了前に外されました。FooBar が起動中に関連する周辺機器が外されたり、周辺機器が接続される前に FooBar が起動されたり

しない限り、FooBar は最後の設定を保存します。

対策 : FooBar を起動する前にパソコンに hiFace を接続して下さい。そして、FooBar を終了してから hiFace を外して下さい。そうしないと再設定が必要になります。

5、

現象 : FooBar のプレイボタンを押しても音声が出力されません。

原因 : hiFace が FooBar の出力デバイスとして選択されていません。

対策 : File メニューから Preferences を選択してください。開いたウィンドウの左側で Playback > Output を選択してください。ウィンドウの右側にある Output Device 欄に FooBar で使用可能な出力デバイスが表示されるので、KS : HIFACE Kernel Streaming を選択してください。

6、

現象 : FooBar の出力デバイスのリストに、DS:hiFace はありますが、KS:hiFace がありません。

原因 : FooBar のカーネル・ストリーミング操作用 DLL が正しくインストールされていません。

対策 : FooBar のウェブサイトアクセスして、components のページから Kernel Streaming support という DLL をダウンロードしてください。(DLL の名前の右側に機能の説明があります。) zip ファイルを解凍して、FooBar のルート・ディレクトリの中にあるサブ・ディレクトリ” components” にコピーしてください。

7、

現象 : 16bit のファイルしか聴けません。24bit のファイルは FooBar の誤動作を引き起こします。

原因 : ドライバ・リリース 1.00 がインストールされていて、FooBar が hiFace に 24bit データを送るように設定されています。ドライバ・リリース 1.00 を使用しているときは、これが問題を引き起こします。

対策 : ドライバをリリース 1.01 以降にアップデートするか、FooBar が 32bit データを出力するように設定してください。File メニューから Preferences を選択してください。開いたウィンドウの左側で Playback > Output を選択してください。ウィンドウの右側の Output data format の欄に、使用可能な分解能が表示されるので、32-bit を選択してください。

8、

現象 : FooBar の play、pause、stop ボタンを押すと強いクリック・ノイズが聞こえることがあります。

原因 : ごく初期の製品で見つけられた内部のマイクロコードのバグです。

対策 : ユーザーサポートにマイクロコードのアップデートか商品の交換を依頼してください。

注意 : このような現象を発生する初期の製品は、日本国内では販売されていません。

9、

現象 : play ボタンを押したときにヒス・ノイズが聞こえることがあります。

原因 : ごく初期の製品で見つけられた内部のマイクロコードのバグです。

対策 : ユーザーサポートにマイクロコードのアップデートか商品の交換を依頼してください。

注意 : このような現象を発生する初期の製品は、日本国内では販売されていません。

10、

現象：音楽再生中に hiFace を外すとパソコンがリセットされます。

原因：これは「突然の取り外し」と呼ばれるよく知られた現象です。通常はドライバに管理されるイベントです。このバグはドライバ 1.01 では修正されています。

対策：最新のドライバをインストールしてください。

11、

現象：音楽再生中に FooBar を最小化するとパソコンがクラッシュします。

原因：ドライバ 1.00 のバグです。ドライバ 1.01 では修正されています。

対策：最新のドライバをインストールしてください。

12、

現象：FooBar が再生中にパソコンがパワー・セーブモードになり、その後復帰するとパソコンがクラッシュします。

原因：ドライバ 1.00 のバグです。ドライバ 1.01 では修正されています。

対策：最新のドライバをインストールしてください。

13、

現象：Windows 7 64bit のパソコンが hiFace を認識しません。

原因：ドライバが古いです。

対策：1.02 以降のドライバをインストールしてください。

14、

現象：FooBar や Winamp をカーネル・ストリーミング・モードで使用できないときがあります。

原因：ドライバ 1.02 がインストールされていて、他の再生ソフトやブラウザがダイレクト・サウンド・モードで hiFace を使用しています。

対策：他の再生ソフトやブラウザを終了してください。

15、

現象：hiFace を使っていて、OS を再起動したら hiFace が認識されていません。

原因：OS 起動時の USB 認証に失敗しました。

対策：一度 hiFace を外し、OS 起動後に再接続してください。